

平成26年度 長岡市三島郡 算数・数学教育研究会 活動報告

部長 中野 薫

1 研究主題 「思考力、表現力をはぐくむ算数・数学的活動の工夫」

～学び合い活動を通して～

2 主題設定の理由

学び合い活動を通して、子ども同士がかかわり合い、互いに自分の思いや考えを伝え合ったり、共有したりする学習を充実させるために、<分かっている児童生徒が、わからない仲間に教える活動><同じ課題に対して、共同で課題解決をしていく活動>が必要である。また、他とかかわる活動により、一人では気づかなかった新しい考え方を広げることによって、算数・数学への興味・関心が高まり、学習意欲の向上にもつながる。

以上の理由により、今年度は上記の主題を設定し研究を行うこととした。

3 活動計画

(1) 総会 〈全員参加〉

- ① 期 日 4月24日(木) ② 会 場 栖吉中学校
③ 内 容 事業計画・研究主題等の検討 組織確認

(2) 常任委員会 〈15名参加〉

- ① 期 日 6月12日(木) ② 会 場 栖吉中学校
③ 内 容 研究主題の確認 授業研究校への協力と参加態様 役割分担

(3) 小学校算数授業研究会 〈82名参加〉(兼：県小研学習指導改善調査研究事業)

- ① 期 日 10月31日(木) ② 会 場 越路小学校
③ 授業者 越路小学校 太田 充子 教諭 小林 剛 教諭
④ 指導者 長岡市教育センター 山田 義浩 指導主事
 中越教育事務所 長谷川 真 指導主事
⑤ 内 容 授業公開 協議会

4 授業研究会の概要

(1) 公開授業

- ① 単元名 4年算数 「面積」 6年算数 「比例と反比例」
② 協議題 「数学的な考え方」を身に付け、自分の考えを表現できる子供の育成

(2) 協議会から

- ・ 授業改善に向かう職員集団のすばらしさ
- ・ 「学び合い活動」における言語活動の充実に向けての取組
- ・ 授業実践の中で有効と考えられる自校独自で考案した「考える技」の整理と活用
- ・ 全校体制の取組で「共有化」「継続化」「焦点化」「視覚化」の視点をおさえた成果

(3) 今後に向けて

- ・ すべての学年、単元を網羅した「数学的な考え方」の明文化と検討